

1、漢字貼り < 二年次の実践参照 >

(5月26日)

右 𠂇 手の形^𠂇と口でできた字。食事の時、口に行く手は右手から

左 𠂇 𠂇と工で作られた字。工は工作の時に使う定木。定木をもつのは左手なので「ひだり」を表した

友 𠂇 二つの手が交。握手する仲のよい友だちの意味

(6月2日)

取 𠂇 受 𠂇 雪 𠂇 筆 𠂇 + 竹(説明略)

手のつく漢字からはじめたが3回目になると子どもの目の輝きがすっかりかわり、以後はもっと教えてくれとくいついてきた。その後、数校で同じやり方でやってみたが、例外なくいっぺんで漢字が好きになってくれた。

2、漢字朝礼による解字指導

中・高学年を対象に週一回十五分ずつ学年毎に実施

指導者・記録者は輪番にあたる

はじめての解字指導 < 昭和53年度 >

中学年の例 研究紀要 < 三年次 > より

「はじめた日が母の日の直後であったので母という字からはじめた」

(5月19日)

母 𠂇 女に乳房を表す印を加えてできた字

父 𠂇 /と又で作られた字。/は斧の意。𠂇は手の印。斧を

手にして働く男を表した。働く男の意から男親の意になった

「手シリーズ」が終わると「足シリーズ」に発展していったが、石井勲先生著『連想式漢字記憶術』『漢字の覚え方』という恰好のテキストがあり、教える方も毎週の朝礼を楽しみにするようになった。